

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

活動隊員:小原真理子・芹口順子・高田昭彦

2024年1月18日(木)

<1月18日>

- 3:30 情報交換
- 4:00 トイレキットの補充
- 5:00 ホットタオルの準備
- 6:00 体育館ラウンド、1Fラウンド(窓越しに観察)
- 7:00 点灯、ホットタオルを配布
観察室 体温 36.3度 血圧 148/88mmHg
発熱のあった2名は平熱となる。
情報交換
- 8:00 ・昨日(1/17)ダンボールベッド左半分が設置された。右半分の段ボールベッドは今のところ希望者はいない。
・本日午後、20日に出発する二次避難の希望をとっていく。
・引き続き罹災証明書も申請手続きしていく。
2F, 3Fトイレ掃除とゴミ捨て終了。
- 8:30 従来と同様に、診療の準備(保健室1チーム診療)
マイクで診療開始について知らせる
体育館住民の診療受付(氏名・年齢・住所・症状の記載)
廊下での待合は寒いので、体育館内で待機、on callとする
合間にボランティア(被災者であり、消防団)の健康チェック
- 8:50 後続隊グループに申し送り
避難所の役員体制、1日のスケジュール、感染症の配置・消毒等、トイレの使用、
避難所の構造、看護用物資、要配慮者の状況
- 9:30 自衛隊医療チーム(Dr.1、Ns1)来所
自衛隊1チーム:体育館住民対象、教室の往診
後続隊グループ診療につく
申し送り

11:00 申し送り終了

13:00 診療終了、自衛隊車両で医療チームとともに珠洲市総合体育館へ

14:00 体育館発:珠洲道路～県道 303 号～穴水から国道 249～七尾から能越道～高岡着

1月19日 高岡～各自宅へ

まとめ

感染症について、18日現在、コロナ4名、インフルエンザ1名あり。今後の感染者の増減に注意することが今までと同様に必要である。集団を見る目と個人への対応が必要であった。個人の健康相談を介し、熱、血圧、酸素飽和度、風邪症状、消化器症状等から医療チームに繋げ、感染症の早期発見に努めてきた。住民ボランティアは3日続けて観察を行った結果、コロナ2名、インフルエンザ1名合計3名、高血圧2名を発見し診療につなげた。

17日夜、被災者全員に二次避難所の募集について本部長から説明があり、18日現在91名の希望者があった。18日午後、再度説明する予定である。何人が残るか、今後の動向をみて、避難生活を支援していく必要がある。



3F 感染症住民の観察を行う